

平成30年度 第1回鹿児島市男女共同参画審議会 会議概要

| | |
|-------|---|
| 日 時 | 平成30年8月1日(水) 10時30分～12時00分 |
| 場 所 | 市役所本館2階 特別会議室 |
| 出席者 | 委員17名 事務局4名 |
| (委員) | 山田委員(会長)、梅澤委員、大重委員、大堂委員、大庭委員、川崎委員、川畑委員、神戸委員、黒岩委員、志賀委員、田平委員、道免委員、中村委員、日高委員、瀧上委員、宮内委員、村山委員 (欠席:石走委員、笹川委員(副会長)、竹林委員) |
| (事務局) | 市民文化部長、男女共同参画推進課長、男女共同参画推進課係長 他1名 |
| 会次第 | 1 開会 2 委嘱状の交付 3 市長あいさつ 4 三浦嘉久前会長講話 5 会長及び副会長の選出 6 議事 (1) 男女共同参画審議会について (2) 本市の男女共同参画の推進状況について ①本市における女性の公職参画状況 ②第2次男女共同参画計画に基づく平成29年度事業実施状況及び平成30年度事業実施計画、指標の達成状況 7 その他 8 閉会 |
| 議事概要 | <p>1. 男女共同参画審議会について (意見なし)</p> <p>2. 本市の男女共同参画の推進状況について</p> <p>① 本市における女性の公職参画状況</p> <p>○中学校校長会では女性の会員が2人入り、協議会等に非常に数多く参加してもらっている。教頭については鹿児島市は他の地区よりも女性比率はかなり高いが、全国的に見るとまだまだ十分とはいえない。</p> <p>○小中高校の管理職に占める女性割合は、小学校が全国は22.0%に対して鹿児島市は10.2%、中学校は全国9.0%に対して市9.0%、高校は全国8.5%に対して市12.5%で市の方が進んでいるという状況。ちなみにジェンダー学会で聞いた発表では、5、6年前は全国の校長・教頭の女性比率で鹿児島県は47位で今は44位。学校管理職への女性の参画が立ち遅れているということを十分認識したうえで、登用とエンパワーメントが課題としてあるのではないかとと思う。</p> <p>② 第2次男女共同参画計画に基づく平成29年度事業実施状況及び平成30年度事業実施計画、指標の達成状況</p> <p>○推進施策1に関して、本当に必要な人に情報が届いているのか疑問である。パンフレットや情報誌を各団体に配っているとのことだが、それが配布先でちゃんと回覧されているのか。</p> <p>●年2回発行している情報誌「すてっぷ」は、全町内会に回覧用に配布している。また待合室等に置いてもらえるように、金融機関、医療機関、理美容院などに配布しているが、それがきちんと市民に読まれているかという懸念はある。回覧箇所や方法については、より多くの方の目にとまる方法をこれからも考えていきたい。</p> <p>○雇用環境・均等室に寄せられる相談は、セクシャルハラスメントや妊娠、出産に関するハラスメントについてが非常に多いが、セクハラ防止は当たり前、というような風潮で周知が少し後退しているように感じる。</p> |
| ○委員 | |
| ●事務局 | |

- 今後発行する情報誌で、雇用機会均等法で禁止されている様々なハラスメントに触れられるのではないかと考えている。
- 銀行では男性も育休をとるように働きかけているが、取得日数はまだ1日、2日程度であり、1日でも多く取得できるようにするのが課題である。また、マタハラ、パワハラ、セクハラに対しては全ての研修、セミナー、管理職も含めたところで伝えている。
- 県の意識調査で、5割近くの企業トップが「女性の管理職登用を特に増やす考えはない」と答えており、これは非常に厚い壁である。企業の経営者や管理職への啓発は丁寧にやっていないといけない。

3 その他

- 政策決定の場に女性がいることはとても大事である。女性議員が70年間いないという市では、課長職にも女性はいないと聞いた。しかし、掘り起しをしていけば政治に興味関心がある人たちはたくさんいるのではないか。
- 県内43市町村の35%にあたる15市町村で女性議員が不在なのは厳しい現実である。政治分野における男女共同参画の推進に関する法律ができ、女性が政治参画する大きな流れが起こっているが、鹿児島市は43市町村の中では15位。まだまだ女性のパワーの掘り起こしが課題かと思う。